

東流西流



山本喜代人

「やまぐちロボサポーターセンター」は2016年11月末に最先端ロボットを活用した歩行トレーニング施設として開設されました。きっかけは4年前に山口銀行が開催した講演会です。ロボットメーカーの方を講師に迎え、ロボットの講演も交え、最後にビデオが流れたそうです。私は銀行に勤務していましたが、まさか後々こういう展開に

ロボットとの出会い

なると思っていなかった。参加しませんでした。ビデオには若い女性が「私には夢ができた」と。実は彼女は車いす生活を送っていたのですが、その夢とは好きな人と結婚することになり、パーソナルロードを自分の足で立て、大好きな彼のもとへ歩いて行きたかったのです。彼女はロボットを使ったトレーニングに励み、そのビデオの最後に実際の結婚式の映

東流西流



山本喜代人

「やまぐちロボサポーターセンター」の立ち上げに当たって、私も銀行員だったので事業収支を試算しましたが、これがなかなか厳しい。高齢化が進んでいるといっても、それは率であって数でいうとやはり都市部の方が多いいです。進むべきか否か、何度も悩みました。が、地方では最先端のリハビリが受けられないというのは困る。幸い広島

始めて分かったこと

・福岡も新幹線に乗れば30分。逆に県外からも来てもらおうと、新山口駅の新幹線口にセンターを開設しました。実際に西は北九州の八幡、東は広島県の三原からも来られています。ご利用者の多くは、病院を退院して自宅で生活されています。病院では毎日リハビリのメニューが組まれていますが、自宅に戻ると運動の機会が限られてしまいます。今の医療・福祉制度だけでは、リハ

東流西流



山本喜代人

「やまぐちロボサポーターセンター」に広島や福岡からも来られていることは既に触れましたが、海外からも多くの方がいらっています。中国からは小中学生の交流団、韓国・台湾からはリハビリや介護を勉強している学生が見学に来ました。みんなロボットを触ってみたいようです。実際のトレーニングに

海外からのお客さま

君がやって来ました。K君は自転車事故で頸椎を損傷し、胸から下にまひが残っています。彼の母さんが山口県出身で、夏休みには家族で帰省した時にセンターを利用して来ました。K君は事故以来車いす生活ですが、ロボットを使って立ち上がり「自分の足で歩いているんだ」という実感が衝撃的だったようです。英国にはこのようなリハビリ機器はないそうです。短期間のトレーニングでしたが、ロボットの感覚を思い出しながら英国でリハビリを頑張ってくれていること、母さんが山口県出身で、夏休みには家族で帰省した時にセンターを利用して来ました。現在、訪日外国人が増えています。日本は歴史や文化だけでなく、最先端の技術を海外に発信していくことも日本ならではの貢献ではないでしょうか。山口県にも訪日外国人の誘致に力を入れている方がいらっしやいます。ぜひとも連携して、ロボットを通じた日本の新しい側面を伝えていければと考えています。(山口市、やまぐちロボサポーターセンター代表)

東流西流



山本喜代人

2016年4月、33年間勤務した銀行を離れ、ロボサポーター山口株式会社を設立し代表となりました。「起業は大変ではないか？」と問われると、正直なところ「超」大変でした。銀行の仕事は基本的に組織・チームでの対応ですが、今回の会社設立は全くの自分一人。小部屋を借りて、電話もパソコンも無い状態からスタートです。

起業って大変!?

やっと仕事をする体制が整ったかと思うと、今度は役所への届け出の多さに閉口です。法務局に税務署、年金事務所……。一人で壁にぶち当たると、全く身動きが取れなくなります。銀行の時はなるべくお客さまとお金以外の話もしてきたつもりですが、「まだこんな知らないこと」が山ほどあります。確かに大変な面はありますが、それ以上に自分の充実感があります。ぜひチャレンジしてみてください。(山口市、やまぐちロボサポーターセンター代表)

東流西流



山本喜代人

いよいよ山口ゆめ花博が始まり、「やまぐちロボサポーターセンター」も先日会場内で開催された産業維新展に出席しました。活字でロボットのことを説明するのは難しいのですが、ロボットを直接見て触れていただく機会を思い3回目の参加です。(写真は会社のホームページとフェイスブックをご覧ください)特に今年是一般市民の

山口ゆめ花博

方の来場が多く、敬老の日に重なっていたからか車いすの方を何名も見かけました。歩くことが不自由であっても、外へ出てみようという気持ちはずばらしいことだと思います。先月センターでのトレーニングを卒業されたNさんから大変うれしい報告をいただきました。Nさんは4年前に脳出血で倒れ、それ以降病院以外ほとんど外出することがなかったそうです。それが先日久しぶりにお孫さん家族と泊2日の温泉旅行に行かれたとのこと。熱心な車いすの方を何名も見かけました。歩くことが不自由であっても、外へ出てみようという気持ちはずばらしいことだと思います。次回の目標は関東にいらっしやるお孫さんの運動会を応援に行くことだそうです。(山口市、やまぐちロボサポーターセンター代表)